

## 農山漁村地域整備計画事前評価調書

計画の概要	計画の名称	ながさきの豊かな森を育む整備計画(3期)	
	計画策定主体	長崎県	
	対象市町村	長崎市、佐世保市 外 計21市町村	
	計画期間	令和2年～6年 計5箇年	
	計画の目標	<p>長崎県では「新ながさき農林業・農山村活性化計画」に基づき、基本理念である「地域にふさわしい健全な森林を未来に引き継ぐため、多面的機能に応じた適正な森林へ配置・管理を行い、調和の取れた豊かな森林づくりを行う」という考えに基づき、森林の持つ多様な機能を十分発揮させる森林整備の実施と農山村における集約化による継続的な林業生産活動を図ります。</p> <p>併せて、多くの半島を持つ本県の特徴である急峻な地形に加え、梅雨期の集中豪雨や台風の常襲地であることから、県民の安全・安心を確保するため山地災害の防止に努めます。</p> <p>さらには、基幹産業である水産業及び農業の持続的な発展を図るため、風倒木の復旧や間伐遅れの林分に対し間伐を積極的に実施するほか、特に保安林については浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林を維持・造成することとし、必要な施設の設置と森林整備を面的かつ総合的に推進します。</p> <p>また、花粉発生源となっているスギ、ヒノキの人工林において、立木を伐倒し花粉症対策苗木等に植え替えを行います。また、伐倒～植栽の一貫作業で行うことにより、低コスト化を図るとともに森林資源の更新を行います。</p>	
	評価指標	①整備された森林面積	838ha
		②整備計画の実施により 住民の資産が保全される額	24,669百万円
対象事業	森林基盤整備事業		
全体事業費	9,325,176 千円		

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	「地域森林計画」及び市町村森林整備計画に定める事業目標と整合性がとれている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題である「集約化施策」に対応した目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	「間伐実績」、「集約化推進計画策定実績」「治山事業実績」等により事後評価できるものとなっている。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	構成事業の趣旨目的が森林のもつ多様な機能の高度発揮を目的としており実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	対象地の条件・事業に必要な技術的条件・事業費等様々な側面から検討して実施可能な計画となっている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元関係者からは同意または理解を得られている。
評価結果	評価 Ⅰ 事業を実施 評価 Ⅱ 計画の見直し		[評価基準] [評価Ⅰ]は全項目に○印がついている [評価Ⅱ]は1項目でも×印がついている